

第4期 決算公告

愛知県名古屋市西区牛島町2番5号

株式会社 S M A R T

代表取締役 佐野 拓也

貸借対照表

(2023年 3月 31日現在)

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,905,879	流動負債	1,107,447
現金及び預金	439,981	買掛金	1,117
受取手形	142,780	工事未払金	393,549
売掛金	1,050,820	短期借入金	340,000
契約資産	258,979	リース債務	2,746
貯蔵品	542	未払金	115,556
前払費用	9,628	未払法人税等	236,800
その他	3,147	契約負債	16,005
		その他	1,673
固定資産	53,465		
有形固定資産	14,607	固定負債	6,397
建物	2,190	リース債務	6,397
構築物	281		
器具及び備品	1,769		
リース資産	4,268		
建設仮勘定	6,098		
無形固定資産	3,094	負債合計	1,113,844
ソフトウェア	589	(純資産の部)	
リース資産	2,504	株主資本	845,500
投資その他の資産	35,763	資本金	100,000
繰延税金資産	23,227	利益剰余金	745,500
差入保証金	12,536	その他利益剰余金	745,500
		繰越利益剰余金	745,500
		(うち当期純利益)	(559,620)
		純資産合計	845,500
資産合計	1,959,345	負債純資産合計	1,959,345

重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準および評価方法

棚卸資産の評価基準および評価方法

貯蔵品

最終仕入原価法に基づく原価法

(2) 減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産を除く)

定率法

ただし、建物および構築物については定額法によっております。

無形固定資産(リース資産を除く)

社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法によっております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(3) 収益および費用の計上基準

設備、プラント処分元請事業においては、財またはサービスを顧客に移転する履行義務を充足するにつれて一定の期間にわたり収益を認識しております。なお、履行義務の充足に係る進捗度の見積りの方法は、主としてコストに基づくインプット法によっております。